

取扱説明書 NS-EX599VP
220万画素
EX-SDI ワンケーブルドーム型暗視カメラ

屋内 / 屋外用



1.EX-SDI で出荷しております。

2. 目次

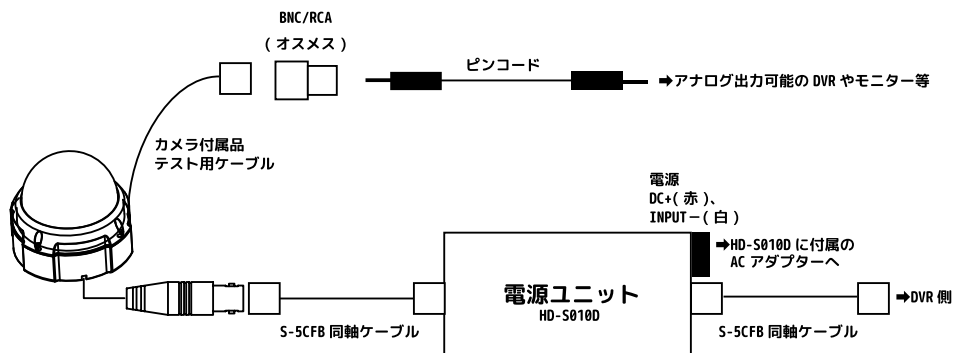
1 .EX-SDI で出荷しております。	2
2. 目次	2
3. 付 属 品 と 配 線 例	3
4. 各 部 名 称 と 機 能	4
5. 設 定 画 面	4

3. 付属品と配線例

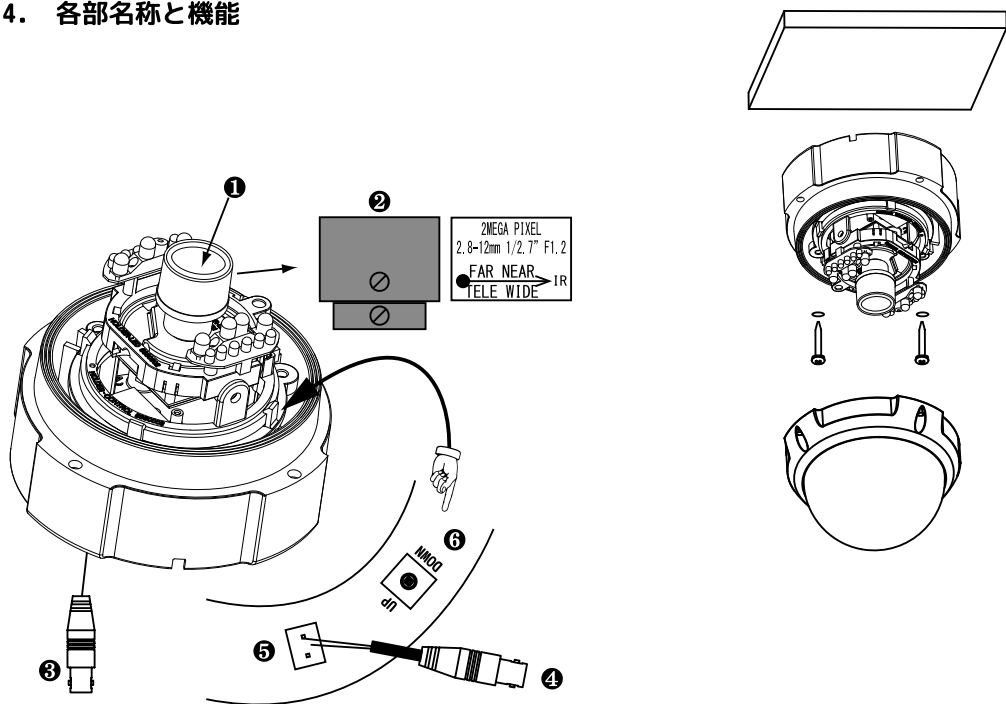
付属品

- 本体 ○説明書(本書) ○取付用ビス ○L型レンチ ○テスト用ケーブル

配線例 (HD-S010D)



4. 各部名称と機能



① レンズ

② 画角調整部

必ず映像を見ながら調整してください。(マイナスドライバー等で緩めて操作し、締めて固定してください。)

フォーカス調整 (FAR/NEAR) : レンズのピントを調整します。

ズーム調整 (TELE/WIDE) : ズームを調整します。

③ 電源重畳端子 黒 HD 専用電源ユニットに接続します。

④ テスト用端子 黄 (⑥で電源供給されている場合、出力可能で同じ信号が出ます。)
モニター出力される場合は、CVBS に切り換えてください。

⑤ テスト用端子接続部

⑥ 操作コントローラー

メニュー画面を操作します。UP 側が上になります。

「上 / 下 / 左 / 右」それぞれの方向に「ボタン」を傾けてカーソルや設定項目を操作します。
また、「ボタン」を押すことで「決定」やメニュー画面の表示を行います。

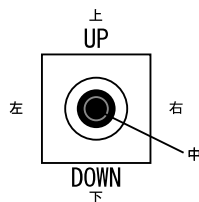
上 : カーソルを上へ移動させます。

下 : カーソルを下へ移動させます。

左 : 数値を上下したり、項目を変更します。

右 : 数値を上下したり、項目を変更します。

中 : ボタンを押すことによってメニュー表示をしたり、項目を決定します。



メニュー画面は、操作がないと 30 秒ほどで閉じます。

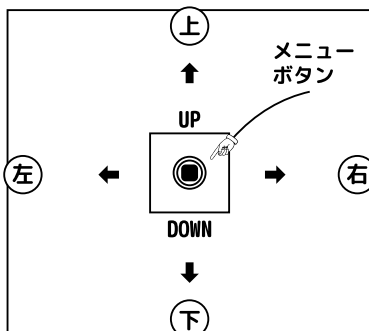
5. 設定画面

- メニュー画面の設定は本体の設定ボタン (P4 機能操作部：参照) で操作します。
- 「メニューボタン」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面上の文字が黄色となっている状態がカーソル表示項目となります。
- カーソルを移動させる場合は、「メニューボタン」を上方向、下方向に押ししてください。
- 設定項目や数値を変更する場合は、「メニューボタン」を左方向、右方向に押しください。
- 項目を決定する場合は「メニューボタン」を押します。
- 「**↩️アイコン**」のある項目は次画面があります。「メニューボタン」で次画面へ移動します。
- 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「メニューボタン」を押します。
- 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

メニュー	
アイリス	自動光量調整
露光	↕
逆光補正	オフ
デイ&ナイト	外部↕
カラー	↕
デジタルノイズ除去	中
イメージ	↕
モーション	オフ
システム	↕
終了	SAVE↕

- アイリス - - - - - 光量調整機能を選択します。
- 露光 - - - - - 明るさについて設定します。
- 逆光補正 - - - - - 逆光補正機能を調整します。
- デイ&ナイト - - - - - 昼夜の切替について設定します。
- カラー - - - - - 昼映像の色味の調整を行います。
- デジタルノイズ除去 - - 映像のノイズ除去機能を設定します。
- イメージ - - - - - 映像の表示について調整します。
- モーション - - - - - 動体検知機能の設定をします。
- システム - - - - - カメラのシステム設定を行います。
- 終了 - - - - - メニュー設定を保存またはキャンセルします。
(SAVE↕ ≠ CANCEL↕)



5-1 アイリス

必ず「自動光量制御」で使用してください。

5-2 露光

明るさやシャッタースピードを調整します。
中央のボタンを押し、次画面へ移動して各項目を設定します。

<明るさ>

画面全体の明るさを「(暗)0～20(明)」より調整します。

<シャッタースピード>

- オート：「ぼやけ補正 / INDOOR/OUTDOOR」より環境に合わせて選択します。
- マニュアル (固定)：シャッタースピードを固定します。「1/30～1/30000」の間で選択します。
- FLICKER：蛍光灯のフリッカ (50Hz 地域使用時) を低減します。

<デジタルスローシャッター>

低照度時のスローシャッター速度を、「x2～x32/ オフ」より調整します。

※スローシャッター時には、動体に残像が出る場合があります。

<オートゲインコントロール>

オートゲインコントロールの設定数値を「(低)0～10(高)」に設定します。

<戻る>

露光	
明るさ	10 ———
シャッタースピード	オート ↩
デジタルスローシャッター	x2
オートゲインコントロール	7 ———
戻る	↩

5-3 逆光補正

逆光に対する補正を調整します。
「オフ」逆光補正をしない状態です。このまま使用してください。

「ハイライト補正」光源など光の強い部分を黒く塗りつぶした状態で表示します。

<レベル> 塗りつぶし範囲を「(広い)0～20(狭い)」より調整します。狭く設定した場合、光源部分のみを塗りつぶします。

<カラー> 塗りつぶす色を「黒 / 白 / 黄 / シアン / 緑 / マゼンタ / 赤 / 青」より選択します。

ハイライト補正	
レベル	10 ———
カラー	BLK
戻る	

「バックライト補正」逆光が強い場合に、背景の光源を抑制し手前の映像がよく見える

よう抑制する光源の位置に補正エリアを設定します。(下図参照)

<水平 位置>

枠が「(左)0～20(右)」の数値分、左右に移動

<垂直 位置>

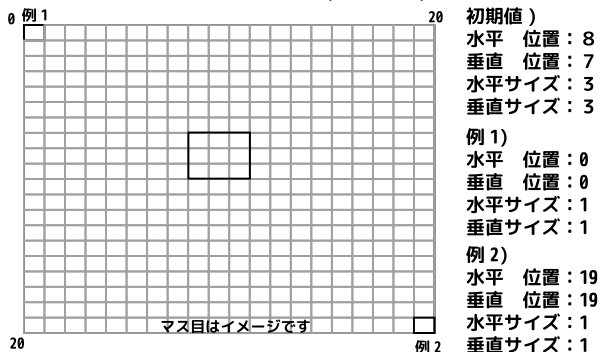
枠が「(上)0～20(下)」の数値分、上下に移動

<水平サイズ>

枠が「(左)0～20(右)」の数値分、横幅が伸縮

<垂直サイズ>

枠が「(上)0～20(下)」の数値分、縦幅が伸縮



「WDR」機能を有効にする場合の強度をレベルの「低 / 中 / 高」から選択します。

5-4 デイ&ナイト

昼 / 夜のモード切換について設定します。

「外部」

<IR LED>

「オン」/「オフ」で IR LED の切替感度設定の「オン」/「オフ」をします。

「オフ」の場合切換感度の設定ができず、光量は切換感度の「0(強)」に固定されます。

<切換感度>

デイ / ナイトモードの切換わる際の光量感度を「(強)0 ~ 20(弱)」に切り換えます。

<EXTERN SW>

「高」/「低」の設定が可能ですが、初期のままお使いください。

<D>N THRES>

デイ → ナイトモードの切換わる際の光量感度を「(強)0 ~ 20(弱)」に切り換えます。

<N>D THRES>

ナイト → デイモードの切換わる際の光量感度を「(強)0 ~ 20(弱)」に切り換えます。

<切換待機時間>

デイ / ナイトモードの切換わる時間を「(速)低 / 中 / 高(遅)」より選択します。

デイ&ナイト(外部)	
IR LED	オン
切換感度	0 ———
EXTERN SW	高
D>N THRES	13 ———
N>D THRES	7 ———
切換待機時間	低
戻る	↶

「オート」使用しません。

「カラー」常にカラーモードで稼働します。夜間などは低照度モードで稼働します。

「モノクロ」常にモノクロモードで稼働します。「0 ~ 20」より適正値を選択します。

<IR LED>

「オン」/「オフ」で IR LED の切替感度設定の「オン」/「オフ」をします。

「オフ」の場合切換感度の設定ができず、光量は切換感度の「0(強)」に固定されます。

<切換感度>

デイ / ナイトモードの切換わる際の光量感度を「(強)0 ~ 20(弱)」に切り換えます。

デイ&ナイト(モノクロ)	
IR LED	オフ
切換感度	NOT_USED
戻る	↶

IR LED	
切換感度	0 ———
戻る	↶

5-5 カラー (ホワイトバランス)

映像の色みについて調整します。

<AWB>

○オート：オートでの使用を推奨します。水銀灯や特殊な光源を使用している環境では、項目を変更するなど設定して環境に応じた映像に設定してください。

○オート2：色味を見ながら選択します。

○ワンブッシュ：中央のボタンを押し続けている間の映像でホワイトバランスを設定します。「PUSHING」と表示されるまで「メニューボタン」を長押し、離れた瞬間の設定を保存します。

○マニュアル[Ⓜ]：(C-TEMP) 色温度を「5000K/8000K/3000K」より選択します。
(赤レベル / 青レベル) 赤味、青味を「0～20」より設定します。

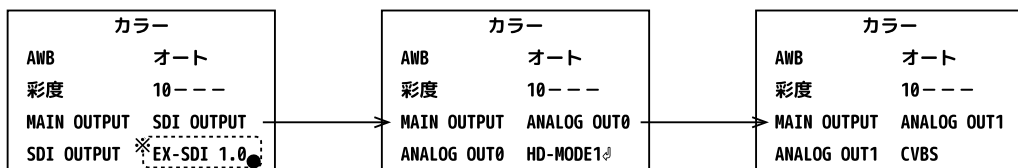
AWB (マニュアル)	
C-TEMP	5000K
赤レベル	10
青レベル	10
戻る	[Ⓜ]

<彩度>

「模糊(0)～(20) 鮮明」より調整します。

<MAIN OUTPUT> 下図参照 (MAIN OUTPUT を切り換えると次の項目が変化します。)

<SDI OUTPUT / ANALOG OUT0 / ANALOG OUT> 下図参照



※ここからも「EX-SDI 1.0 ⇄ EX-SDI 2.0 ⇄ HD-SDI」の切り換えが可能です。(EX-SDI 2.0 は使用しません。)

注) 切換途中にビデオロスなどの画面になることがあります。5～6秒経過しても映像が表示されない場合、スイッチを左右に押しして設定の順番を進めてください。

5-6 デジタルノイズ除去

映像内のざらつき（ノイズ）を補正します。夜間映像などのノイズを除去します。必要に応じて設定してください。設定は、「中 / 高 / オフ / 低」の中から選択します。

5-7 イメージ

カメラ映像の表示方法について調整します。

映像出力全体の表示に影響します。昼夜の映像の違いを考慮し、必要に応じて設定してください。

<シャープネス>

映像内のエッジを強調します。実際の映像を確認して設定します。「HD-SDI」、「EX-SDI1.0」より選択し、数値を設定します。「0(ソフト)～5(標準)～10(強調)」の間で設定します。

シャープネス	
MAIN OUTPUT	SDI OUTPUT
SDI	HD-SDI
SDI&CVBS	5(0-10)
⋮	⋮
⋮	⋮

イメージ	
シャープネス	⬇
ガンマ	0.55
ミラー	オフ
フリップ	オフ
ACE	オフ
曇り除去	オフ
プライバシー	⬇
戻る	⬇

<ガンマ>

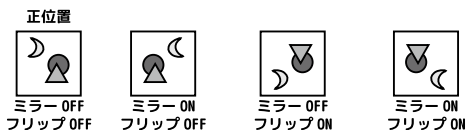
映像出力の明るさを補正します。「(明)0.45～0.75(暗)」の間で調整します。

<ミラー>

「オン/オフ」切り換えができます。「オン」の時、映像を左右反転にします。

<フリップ>

「オン/オフ」切り換えができます。「オン」の時、映像を上下反転にします。



<ACE>

映像の明暗差均等にするよう調整します。「オフ(標準) / 低 / 中 / 高」から選択します。

<曇り除去>

○オフ：通常は「オフ」で使用します。

○オン：霧がかかった状態になりやすい環境の場合「オン」にします。明暗差を強くし、視界不良を軽減します。

・モード：「オート」と「マニュアル」があります。レベルを「中 / 高 / 低」から選択します。

<シェーディング>

○オフ：通常は「オフ」で使用します。

○オン：「レベル」より補正の強さを「0%～100%」に調整できます。

<プライバシー>

次ページで説明します。

5-7 イメージ

<プライバシー>

表示させたくない部分をマスキングします。

プライバシー	
エリアナンバー	0
エリア表示	オン
水平位置	12
垂直位置	2
水平サイズ	3
垂直サイズ	3
Y LEVEL	10
CB LEVEL	10
CR LEVEL	10
TRANS	0
戻る	⏪

<マスキングセル>

「0～15」より操作するBOXを選択します。

<マスキングモード>

「ON」≠「OFF」で切り換えます。「ON」の場合、BOX操作が可能です。

<水平位置>

「(左)0～60(右)」左右に移動します。

<垂直位置>

「(上)0～34(下)」上下に移動します。

<水平サイズ>

「(狭)0～40(広)」左右に伸縮します。

<垂直サイズ>

「(低)0～34(高)」上下に伸縮します。

<Y LEVEL>

「(黒)0～20(白)」マスクの色を調整します。

<CB LEVEL>

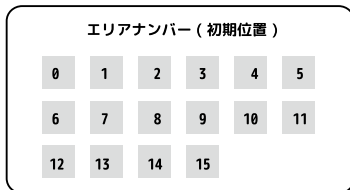
「(黄)0-20(青)」マスクの色を調整します。

<CR LEVEL>

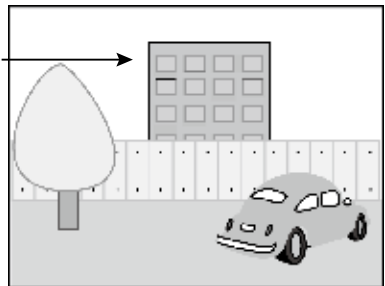
「(緑)0-20(赤)」マスクの色を調整します。

<TRANS>

「(不透明)0～3(透明)」よりマスクの透明度を選択します。



この様にそれぞれの窓にマスクをすることが可能です。



例) BOX12の場合(定位置H12、V10・サイズH3、V3)

<マスキングセル>を12にします。

上図の12のBOXの操作が可能になります。

水平位置の数字を小さくすると左に移動します。数字を大きくすると右に移動し、13側のBOXに重なります。

垂直位置の数字を小さくすると上に移動し、6側のBOXに重なります。数字を大きくすると下に移動します。

水平サイズの数字を小さくすると左に縮みます。数字を大きくすると右に広がり、13側のBOXに重なります。

垂直サイズの数字を小さくすると上に縮み、数字を大きくすると下に伸びます。

(※H、V、共にサイズを「0」にした場合、直径2mm程度の「点」になります。)

※設置に関して、被写体となる不特定多数の個人のプライバシーを侵害することがないように、十分留意することが必要です。

Y、CB、CRレベルともに10の場合、薄い灰色になります。

Y、CB、CRレベルともに20の場合、ピンク色になります。

Y、CB、CRレベルともに0の場合、濃い緑色になります。

5-8 モーション

カメラが映像内で動きを検知した際に、検知され警告とエリアを画面上に表示します。
 動体検知（モーション）の警告は外部に出力されません。映像にのみ表示されます。
 「オフ」初期値です。

「オン」感度や感知エリアを設定ができます。

※設定を始める前に必ず、<MOTION OSD>を「オン」に設定してください。
 動きに反応して、赤い枠がいくつも表示されます。

<DET WINDOW>

検知させるエリアを設定します。設定した枠の中だけ赤い枠が表示されます。
 初期値は画面全体が検知エリアになっています。

○WINDOW ZONE :

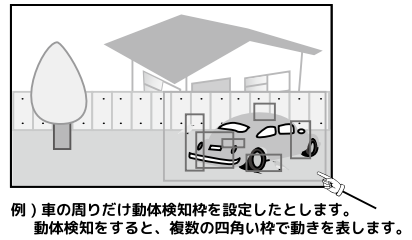
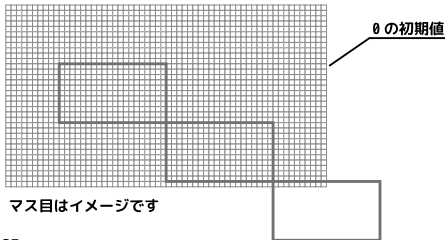
「0～4」の4種類のエリア設定が可能です。（それぞれ初期値が違います。）

DET WINDOW(0)	
WINDOW ZONE	0
WINDOW USE	オン
水平位置	1
垂直位置	1
水平サイズ	58
垂直サイズ	32
戻る	↓

DET WINDOW(1)	
WINDOW ZONE	1
WINDOW USE	オフ
水平位置	10
垂直位置	11
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↓

DET WINDOW(2)	
WINDOW ZONE	2
WINDOW USE	オフ
水平位置	30
垂直位置	22
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↓

DET WINDOW(3)	
WINDOW ZONE	3
WINDOW USE	オフ
水平位置	50
垂直位置	33
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	↓



○WINDOW USE :

検知や設定する場合は「オン」、しない場合は「オフ」にします。
 「オン」時、選択中の窓枠は、黄色い枠になります。すでに設定済の枠は緑色です。

○水平位置

枠が左右に動きます。画面で確認しながら「(左)0～60(右)」より数値を設定します。
 「0」が一番左になり「60」にした場合、枠は画面右側の外になります。

○垂直位置

枠が上下に動きます。画面で確認しながら「(上)0～34(下)」より数値を設定します。
 「0」が一番上になり「34」にした場合、枠は画面下側の外になります。

○水平サイズ

枠が横に伸縮します。画面で確認しながら「(狭)0～60(広)」より数値を設定します。

○垂直サイズ

枠が縦に伸縮します。画面で確認しながら「(低)0～34(高)」より数値を設定します。

<DET TONE>

検知範囲外部分（境界線）のマスク度を設定します。「(不透明)0～3(透明)」「4(枠線)」

<MDRECT FILL>

検知した時、「オン(塗り)」「オフ(枠線)」で表示します。

<感度>

検知感度を設定します。「(強)0～10(弱)」より設定します。

<MOTION OSD>

「オフ」

「オン」感知エリアが赤色で表示されます。

<TEXT ALARM>

「オフ」

「オン」感知時「WINDOW0 MOTION !!!」が画面に出ます。

<SIGNAL OUT> 使用しません。



例)DET TONEをO、MDRECT FILLをオンにした場合に動体検知をすると、上図のようになります。

5-9 システム

カメラのシステム部分の設定を行います。必要に応じて設定してください。

<OUTPUT>

EX-SDI と HD-SDI の切換をします。

OUTPUT	
MAIN OUTPUT	SDI OUTPUT
SDI OUTPUT	EX-SDI 1.0
ANALOG OUT0	HD-MODE1 [♪]
ANALOG OUT1	HD-MODE1 [♪]
戻る [♪]	

SDI OUTPUT / ANALOG OUT0 / ANALOG OUT1
HD-SDI / EX-SDI1.0 / EX-SDI2.0 / オフ
HD-MODE1[♪] / HD-MODE2[♪] / オフ / CVBS
HD-MODE1[♪] / HD-MODE2[♪] / オフ / CVBS

システム	
OUTPUT	[♪]
フレームレート	1080 30P
FREQ	60HZ
通信	[♪]
IMAGE RANGE	USER [♪]
色空間	HD-CbCr
カラーバー	オフ
言語	JPN
CAM TITLE	オフ
リセット	オン
戻る	[♪]

<フレームレート>

○1080_30P：このまま使用してください。

<FREQ>

○60HZ(NTSC)：このまま使用してください。

※50HZ(PAL)：絶対に使用しないでください。

<通信>

使用しません。

<IMAGE RANGE>

○USER：手動でOFSET「(暗)0～32(明)」より調整します。
初期値(OFSET16)で使用してください。

○FULL：使用しません。

○COMP：使用しません。

<色空間>

○HD-CbCr：このまま使用してください。

<カラーバー>

○オフ：このまま使用してください。

<言語>

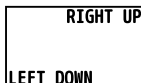
○JPN：日本語のまま使用してください。(他に韓国語、英語、中国語があります。)

<CAM TITLE>

○オフ：カメラタイトルを非表示にします。

○RIGHT UP

○LEFT DOWN



右上もしくは左下にカメラにタイトルを付けることができます。
「*」が上にある「0(初期値)」の文字をコントローラーの上下で
「0、1～9/A～Z、スペース」より設定できます。
「*」は、コントローラーの左右で移動します。中央のボタンを押すと決定に
なり、システムの画面に戻ります。

<リセット>

○「PUSHING」と表示されるまで「メニューボタン」を長押しします。全ての設定が初期値に戻ります。

※HD-SDIでご使用の場合、リセットにより初期値のEX-SDI1.0に戻ってしまいます。

○「終了」

SAVE[♪]：保存して終了します。

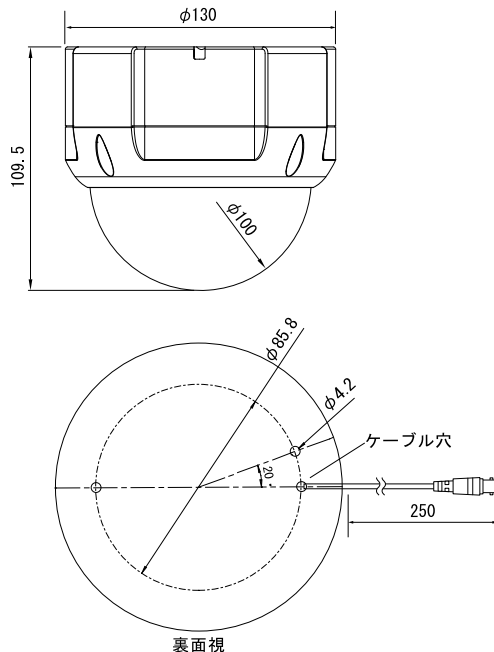
CANCEL[♪]：保存しないで終了します。

【EX-SDIワンケーブルドーム型暗視カメラ 仕様書】

■仕様

撮像素子	1/3 インチ 2.2Mega Pixels SONY CMOS
走査方式	プログレッシブスキャン方式
映像出力	EX-SDI(HD-SDI)出力 /1080P(25/30)、 CVBS(出力)1.0vp-p/75Ω、ビデオケーブル (BNC) EX-SDI/HD-SDI出力切り替えは、OSDメニューにて設定します。
有効画素数	1944(H)×1092(V)212万画素
最低照度	0Lux(IR:ON)
レンズ	パリアフォーカル IR レンズ f2.8 ~ 12mm/F1.4 水平画角 91° ~ 28° / 垂直画角 67.5° ~ 21.2°
デイ&ナイト	カラー / 白黒 / 自動 / 外部選択、赤外線照射距離: 15m /IR カットフィルター
電子感度アップ	自動 (最大 ×2 ~ ×32 選定可) / OFF 選択
WDR	高 / 中 / 低
電源	専用電源ユニット (HD-S010D、HD-S040D、HD-S080D)
消費電流	最大 530mA/DC12V
使用条件	-30°C ~ +50°C/80% RH 以下
外形寸法 / 重量	φ130 × 109.5(H)mm / 850g (カメラ本体 / 突起部除く)
付属品	CVBS ビデオケーブル

■外形寸法



171004

(単位 : mm)

NS-EX599VP

 株式会社 NSK